



府省名	内閣府	部署名	働き方改革有志プロジェクトチーム 大臣官房人事課
取組のポイント			
<p>「ポジ活」(改革意欲のある有志(52名)によるポジティブな活動)を展開。各職場における働き方改革の取組の定例共有会のほか、働き方改革失敗例の検証会、定時退庁を目指す会、英語勉強会等、多様な勉強会を開催。また、特に優れた取組への事務次官表彰、職員向け講演会とのコラボレーションなど幅広く活動。</p>			
取組概要			
<p>【取組の背景】</p>			
<p>内閣府は、業務内容も職員のバックグラウンドも様々で「組織としての一体感」を感じにくい職場であり、働き方改革も進みにくく試行錯誤が続く状況にあった。そこで、シンプルに、「もっと楽しく働きたい」「働き方改革は大切だ」という思いの人が集まるプラットフォーム作りを府内掲示板で呼び掛けたところ、多数の部局から52名の有志が集まった。この有志による自由な発想、創意工夫により、ワークもライフも楽しくなるような多彩な取組や活動＝「ポジ活」を展開している。</p>			
<p>【取組の内容】</p>			
<p>各メンバーが、どう生きたいのか、そのためにどう仕事をしたいのか、自分はず何をするのかを宣言する「生きざまシート」を作成し、自身の「ポジ活」を見つける基本軸を確立。また、昼休み時間等を利用した月1回の定例会において、各メンバーが実施している取組の共有・横展開、有識者による働き方改革の動向などの勉強会を開催。さらに、優れた取組を行ったメンバーに対し、年末の「ポジ活」アワードにおいて事務次官から表彰し、内容は府内イントラネットにて共有。</p>			
<p>【取組の成果】</p>			
<p>民間や地方公共団体の出向者等を含めた多彩なメンバーの発案により、ユニークな取組が生まれ、ポジティブな意識での横展開が図られている。さらに、内閣府としての「働き方改革」の方向性とも連動し、取組がより広がっている。今後は管理職研修等で成果を共有する予定。</p>			
			
月1定例会での意見交換		「ポジ活」アワード表彰式	
講評			
<p>働き方改革を生活改革まで広げた取組であることや、職員の自主的な参加を基本とし、多様なメンバー間でのコミュニケーションの取り方に工夫が見られる。事務次官、官房長等を顧問とするなど幹部も巻き込んで活動している点も評価できる。</p>			